

石神中学校だより 1号

発行日：令和2年 4月15日

2020重点目標＜自ら学び、夢の実現のためにやり抜く生徒＞ 文責：校長 佐藤恭司

令和2年度石神中学校学校経営・運営ビジョン

＜教育目標＞

「自ら学習する生徒」 「正しく判断できる生徒」 「健やかな生徒」

＜重点目標＞

「自ら学び、夢の実現のためにやり抜く生徒」

＜2020いじめ根絶に向けて＞

己の欲せざる所は人に施す勿れ（おのれのほっせざるところは ひとにほどこすなかれ）

【意味】 己の欲せざる所は人に施す勿れとは、自分がして欲しくないと思うことは、他人にとっても同じなのだから、他人にすべきではないということ。

＜学校経営方針＞

【意識化から具現化へ】

開かれた学校づくりを通して、教職員、生徒、保護者、地域による本校の教育課題、経営・運営方針の意識化を図り、英知を結集して教育目標の具現化を図る。

- 1 安心できる生徒の教室作り
- 2 防犯・防災意識の向上と危機管理
- 3 人権の意義を高める豊かな心の育成
- 4 生徒の自己マネジメント力の育成
- 5 生徒の健康と体力づくり
- 6 教員の授業力向上と授業の質的改善
- 7 開かれた学校づくり、家庭や地域社会、
関係機関との緊密な連携
- 8 生徒・教職員事故の絶無



＜めざす像＞

【徳を以て、徳に報いる人づくり】

- 1 学校像
「生徒と共に」「教職員と共に」「保護者と共に」「地域と共に」
 - (1) 目標をしっかりとつかみ、自己実現ができる学校
 - (2) 成就感、達成感のある学校
 - (3) 認められる、信頼される、開かれた学校
- 2 生徒像
 - (1) 明るく元気なあいさつが出来る生徒
 - (2) 志を持ち、生活できる生徒
 - (3) 善悪を判断し、行動できる生徒
 - (4) 授業を真剣に受け、計画的に家庭学習ができる生徒
 - (5) 思いやりの心を持ち、助け合いのできる生徒
 - (6) 健康や安全に注意し、生活できる生徒
- 3 教師像
 - (1) 協働する教師
 - (2) 信頼される教師
 - (3) 学び続ける教師





1 学年集会の様子

新年度がスタートしました!

4月6日始業式・入学式が行われ、新1年生56名を迎え、全校生183名で始まりました。新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、例年とは違う新年度の始まりになりましたが、個々の生徒の目標や意欲は表情や言動にも表れ、今年度の活躍が大いに期待されるところです。9日から13日までの間、臨時休校措置になりました。14日から通常の学校生活が再開し、1週間遅れの新年度が再び始まりました。生徒の声が響く学校はいいものです。



着任の様子



始業式の様子



入学式の様子

いじめ根絶「己の欲せざる所は人に施すなかれ」

始業式校長式辞より（抜粋）

始業式にあたり、皆さんに覚えて欲しいことわざをお話します。昔、中国の春秋時代の思想家、孔子の言葉です。孔子には弟子が沢山いました。たくさん弟子がいると様々なトラブルがおきたのでしょ。中には弟子同士のいじめがあったかも知れません。そこで孔子は弟子にいいました。

「己の欲せざる所は人に施すなかれ」（おのれのほっせざる所は、ひとにほどこすなかれ）

自分が人からして欲しくないようなことは、人もして欲しくないのだから、人にしてはならない。また、自分が人から言われたくないようなことは、人も言われたくないのだから、人に言うてはならないということです。友達や下級生に対して、気配りや思いやりをもって接してください。「己の欲せざる所は人に施すなかれ」

今年度、石神中人権宣言とともに本校のいじめ根絶に向けての共通の言葉にしたいと思います。みんなが楽しく過ごせる石神中学校を築いていくためにも、一人一人の心遣いと行動が必要です。最後に、病気やけが、交通事故などにあうことなく、目標をかかげて精一杯励んでください。



4月14日学校再開日の給食準備風景

学校再開と今後について

新型コロナウイルスによる感染拡大防止に伴う学校休校措置がとられてきました。現時点で生徒や教職員の感染や濃厚接触が無いため、14日から通常の学校生活が再開となりました。当面は短縮6校時を基本として授業を行っていきます。また、前年度3月の未履修部分については、各授業の中で担当教諭が指導・支援を行っていきます。部活動は5月6日まで休みとなりますが、生徒の健康と体力作りを考えたトレーニングを日課の中に組み入れたいと考えています。3密を踏まえた方法や内容が決まりましたら、お知らせをしたいと思います。

